

第 109回
2019 年4月～6月期
「景況調査」



目次

1	回答者の属性	1
2	全体の景況判断	4
	（ア） 全体の景況感	4
	（イ） 各項目の状況	6
3	主要指標のクロス分析	12
	（ア） 景況感別の動向	12
	（イ） 業種別の動向	13
	（ウ） 従業員規模別の動向	13
	（エ） 本社地区別の動向	13
4	経営上の問題点	14
5	その他の調査項目	17
	（ア） 資金繰り	17
	（イ） 従業員補充について	18
	（ウ） 賞与について	21
6	経営指針書について	24
7	自由回答項目	26
	（ア） 景況理由	26
	（イ） 従業員の補充方法	33

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

過去最低であった 106 回の 273 に次いで少なく 277 件であった。回収率は 12.6%。

第 109 回:調査時期:令和元年 6 月 1 日～6 月 30 日

回収数:277 件(令和元年 6 月 1 日会員数 2,200 名、回収率 12.6%)

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

回答方法		第108回		第109回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	
1	WEB	245	81.4	247	89.2	7.8
2	FAX	56	18.6	30	10.8	-7.8
	サンプル数(%ベース)	301	301	277	277	-24
1.業種		第108回		第109回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	製造業(生産財)	23	7.6	25	9	1.4
2	製造業(消費財)	17	5.6	15	5.4	-0.2
3	建設業(建築)	33	11	32	11.6	0.6
4	建設業(土木)	11	3.7	10	3.6	-0.1
5	建設業(設備)	14	4.7	14	5.1	0.4
6	商業・流通業	31	10.3	27	9.7	-0.6
7	サービス業(対事業所)	102	33.9	99	35.7	1.8
8	サービス業(対個人)	70	23.3	55	19.9	-3.4
	不明	0	0	0	0	
	サンプル数(%ベース)	301	301	277	277	-24
2.従業員数		第108回		第109回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	0名～5名	121	40.2	110	39.7	-0.5
2	6名～10名	64	21.3	37	13.4	-7.9
3	11名～20名	40	13.3	55	19.9	6.6
4	21名～30名	26	8.6	24	8.7	0.1
5	31名～50名	17	5.6	19	6.9	1.3
6	51名～100名	17	5.6	17	6.1	0.5
7	100名以上	16	5.3	15	5.4	0.1
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	301	301	277	277	-24

3.本社所在地		第108回		第109回		構成比増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	福岡地区	207	68.8	169	61	-7.8
2	北九州地区	27	9	43	15.5	6.5
3	筑豊地区	35	11.6	39	14.1	2.5
4	県南地区	25	8.3	23	8.3	0
5	福岡県外	7	2.3	3	1.1	-1.2
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数(%ベース)	301	301	277	277	-24
4.所属支部		第108回		第109回		構成比増減
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	東支部	12	4.0	16	5.8	1.8
2	福博支部	13	4.3	18	6.5	2.2
3	博多支部	49	16.3	24	8.7	-7.6
4	中央支部	15	5.0	12	4.4	-0.6
5	西支部	14	4.7	18	6.5	1.9
6	南支部	25	8.3	19	6.9	-1.4
7	筑紫支部	12	4.0	7	2.5	-1.4
8	福友支部	33	11.0	32	11.6	0.7
9	青年支部	5	1.7	2	0.7	-0.9
10	玄海支部	20	6.6	11	4.0	-2.6
11	かすや支部	9	3.0	8	2.9	-0.1
12	糸島支部	3	1.0	5	1.8	0.8
13	北九州支部	18	6.0	26	9.5	3.5
14	ひびき支部	10	3.3	16	5.8	2.5
15	のおがた支部	24	8.0	20	7.3	-0.7
16	飯塚支部	9	3.0	13	4.7	1.7
17	田川支部	5	1.7	8	2.9	1.2
18	久留米支部	11	3.7	7	2.5	-1.1
19	大牟田支部	4	1.3	4	1.5	0.1
20	有明支部	2	0.7	6	2.2	1.5
21	りょうちく支部	8	2.7	3	1.1	-1.6
	不明	0	0.0	2	0.7	0.7
	サンプル数(%ベース)	301	301	277	275	-26.0

4.所属支部										
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%	所属会員数	会員構成比	回収率	回収数 ランキング	回収率 ランキン グ	回答比- 構成比差分
1	東支部	16	5.8	5.8	259	11.8%	6.2%	8	19	5.7
2	福博支部	18	6.5	6.5	99	4.5%	18.2%	6	7	6.5
3	博多支部	24	8.7	8.7	172	7.8%	14.0%	3	10	8.6
4	中央支部	12	4.4	4.3	135	6.2%	8.9%	11	17	4.3
5	西支部	18	6.5	6.5	116	5.3%	15.5%	6	9	6.4
6	南支部	19	6.9	6.9	159	7.3%	11.9%	5	11	6.8
7	筑紫支部	7	2.5	2.5	82	3.7%	8.5%	15	18	2.5
8	福友支部	32	11.6	11.6	341	15.6%	9.4%	1	16	11.4
9	青年支部	2	0.7	0.7	78	3.6%	2.6%	21	21	0.7
10	玄海支部	11	4	4	113	5.2%	9.7%	12	14	3.9
11	かすや支部	8	2.9	2.9	48	2.2%	16.7%	13	8	2.9
12	糸島支部	5	1.8	1.8	48	2.2%	10.4%	18	13	1.8
13	北九州支部	26	9.5	9.4	132	6.0%	19.7%	2	6	9.4
14	ひびき支部	16	5.8	5.8	67	3.1%	23.9%	8	4	5.8
15	のおがた支部	20	7.3	7.2	54	2.5%	37.0%	4	1	7.3
16	飯塚支部	13	4.7	4.7	65	3.0%	20.0%	10	5	4.7
17	田川支部	8	2.9	2.9	32	1.5%	25.0%	13	2	2.9
18	久留米支部	7	2.5	2.5	72	3.3%	9.7%	15	15	2.5
19	大牟田支部	4	1.5	1.4	69	3.1%	5.8%	19	20	1.5
20	有明支部	6	2.2	2.2	24	1.1%	25.0%	17	2	2.2
21	りょうちく支部	3	1.1	1.1	27	1.2%	11.1%	20	12	1.1
	不明	2		0.7						
	N(%ベース)	277	275	100	2192		12.6%			

	%	サンプル数	製造業（生産財）	製造業（消費財）	建設業（建築）	建設業（土木）	建設業（設備）	商業・流通業	サービス業（対事業所）	サービス業（対個人）
合計		277	9.0	5.4	11.6	3.6	5.1	9.7	35.7	19.9
本社地区	福岡地区	169	4.7	6.5	12.4	4.1	4.7	8.3	45.0	14.2
	北九州地区	43	18.6	2.3	18.6	2.3	0.0	11.6	30.2	16.3
	筑豊地区	39	7.7	5.1	5.1	0.0	5.1	15.4	15.4	46.2
	県南地区	23	26.1	4.3	4.3	8.7	17.4	4.3	13.0	21.7
	福岡県外	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
従業員数規模	0名～5名	110	5.5	2.7	12.7	1.8	6.4	5.5	42.7	22.7
	6名～10名	37	13.5	8.1	21.6	0.0	8.1	2.7	29.7	16.2
	11名～20名	55	12.7	5.5	7.3	9.1	3.6	16.4	30.9	14.5
	21名～30名	24	4.2	12.5	4.2	4.2	4.2	4.2	29.2	37.5
	31名～50名	19	10.5	10.5	26.3	5.3	5.3	21.1	10.5	10.5
	51名～100名	17	23.5	5.9	0.0	5.9	0.0	23.5	29.4	11.8
	100名以上	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	66.7	20.0

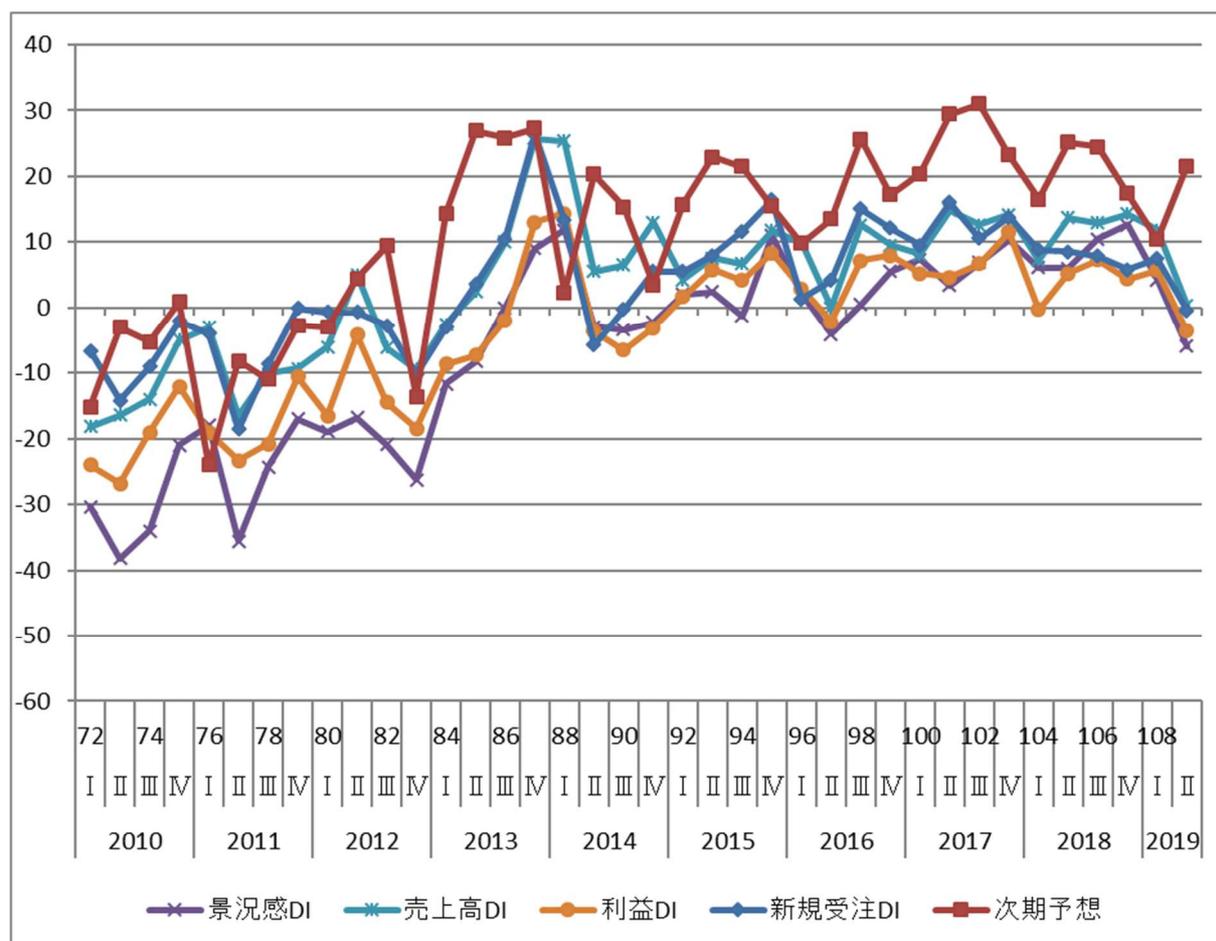
2 全体の景況判断

(ア) 全体の景況感

景況感各種 DI(よい-悪い)の状況はどうなっているか

11 期連続プラス域を維持していた景況感 DI を含め、4 指標いずれも下落した。一方、三期連続低下していた次期予想は今回は改善した。

全体の推移



	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	-5.9	-10.2
売上高 DI	0.4	-11.5
利益 DI	-3.6	-9.3
新規受注 DI	-0.4	-7.9
次期予想 DI	21.6	11.2

年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2010	I	72	432	-30	-18	-24	-7	15.2	-17
	II	73	535	-38	-16	-27	-14	-3	-21
	III	74	485	-34	-14	-19	-9	-5.2	-18
	IV	75	426	-21	-5	-12	-2	0.9	-15
2011	I	76	349	-18	-3	-19	-4	-24	-28
	II	77	398	-36	-16	-23	-19	-8.2	-11
	III	78	374	-24	-10	-21	-9	-11	-13
	IV	79	341	-17	-9	-11	0	-2.7	-10
2012	I	80	338	-19	-6	-17	-1	-3	-8
	II	81	437	-17	5	-4	-1	4.5	-6
	III	82	502	-21	-6	-15	-3	9.4	-15
	IV	83	357	-26	-9	-19	-10	13.6	-16
2013	I	84	420	-12	-3	-9	-3	14.4	-16
	II	85	378	-8	2	-7	4	26.9	-8
	III	86	284	0	10	-2	11	25.9	1
	IV	87	290	9	26	13	26	27.3	0
2014	I	88	300	12	25	14	13	2.3	0
	II	89	319	-3	6	-4	-6	20.3	-6
	III	90	294	-3	7	-7	0	15.4	0
	IV	91	319	-2	13	-3	6	3.5	-1
2015	I	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	II	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	III	94	386	-1.3	6.7	4.2	11.7	21.5	-2.6
	IV	95	355	11.0	11.8	8.4	16.4	15.5	3.9
2016	I	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	II	97	347	-4.1	0	-2.1	4.2	13.5	10.0
	III	98	449	0.5	12.6	7.2	15.1	25.7	6.3
	IV	99	382	5.5	9.5	8	12.2	17.2	5.0
2017	I	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	II	101	409	3.4	14.9	4.7	16	29.5	6.9
	III	102	442	6.9	12.6	6.7	10.6	31	5.7
	IV	103	355	10.3	14.2	11.6	13.8	23.2	12.2
2018	I	104	358	6.1	7.3	+0.3	8.8	16.5	5.9
	II	105	382	6	13.7	5.3	8.6	25.2	9.5
	III	106	273	10.5	12.9	7.3	7.9	24.5	10.7
	IV	107	296	12.6	14.3	4.4	5.8	17.4	4.1
2019	I	108	301	4.3	11.9	5.7	7.5	10.4	1.0
	II	109	277	-5.9	0.4	3.6	-0.4	21.6	3.3

2014以前は四捨五入
 ※ 資金繰りDIは73回より5段階評価

景況感は現況判断のため、前年同期比較すると以下のような推移となっている。

	I	II	III	IV
2010	-30	-38	-34	-21
2011	-18	-36	-24	-17
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8	0	9
2014	12	-3	-3	-2
2015	2	2	-1	11
2016	2	-4	0	5
2017	7	3	7	10
2018	6	6	11	13
2019	4.3	-5.9		



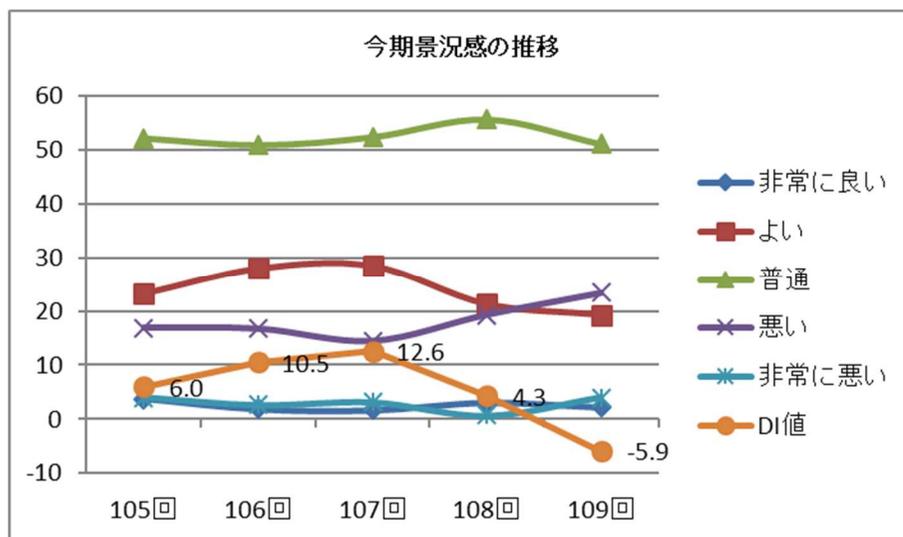
(イ) 各項目の状況

今期景況感 DI

2019年4～6月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

景況感は過去10年で最高となった前々回から計18.5pt低下して-5.9となった。

5. 今期景況判断		第108回	DI値	4.3	第109回	DI値	-5.9	-10.2
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	非常に良い	9	3	24.3	6	2.2	21.5	-0.8
2	よい	64	21.3		53	19.3		-2.0
3	普通	167	55.7	55.7	140	51.1	51.1	-4.6
4	悪い	58	19.3		64	23.4	27.4	+4.1
5	非常に悪い	2	0.7	20	11	4		+3.3
	不明	1			3			
	サンプル数(%ベース)	301	300		277	274		-26



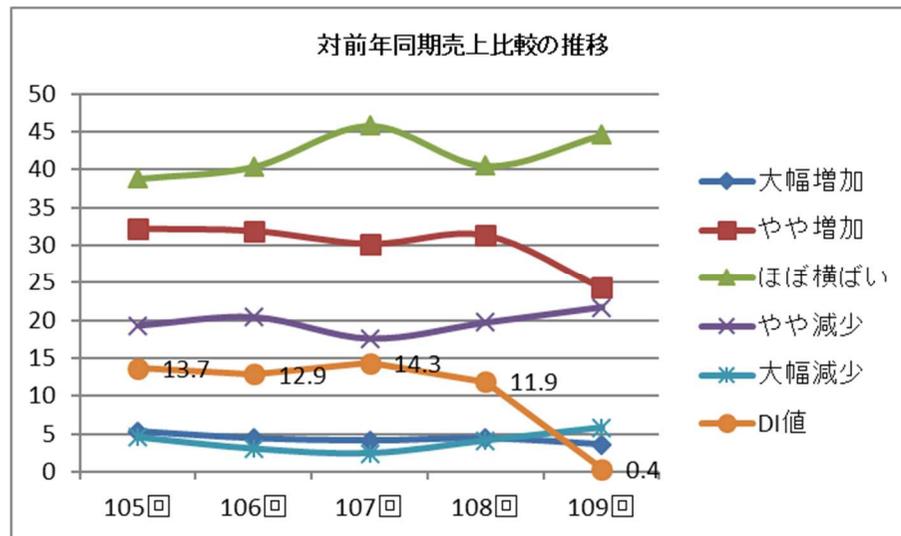
前回は「よい」が減少、「悪い」「普通」がともに増加していたが、今回は「悪い」が7.4ptの増加、「普通」は4.6ptの減少となっており、明確に「悪い」へシフトした様子がわかる。

売上高DI

2019年4～6月期の貴社の「売上高」について、前年同期(2018年4～6月期)に比較してお答えください。

辛うじてプラス域だが 11.5pt の減少。

6.対前年同期売上高比較		第108回	DI値	11.9	第109回	DI値	0.4	-11.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	13	4.4	35.7	10	3.6	27.9	-0.8
2	やや増加	92	31.3		67	24.3		-7.0
3	ほぼ横ばい	119	40.5	40.5	123	44.6	44.6	+4.1
4	やや減少	58	19.7	23.8	60	21.7	27.5	+2.0
5	大幅減少	12	4.1		16	5.8		+1.7
	不明	7			1			
	サンプル数(%ベース)	301	294		277	276		-18



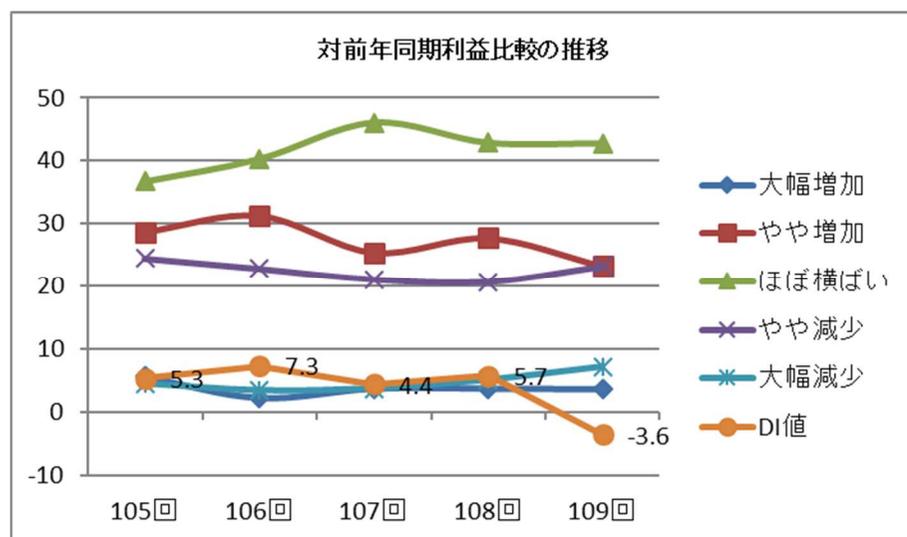
景況理由 pickup「売上」(行塗りは景況感別、以下同)	
1	顧客の製造減のための、受注回数減と数量減による売り上げ減少
2	4～5月は10連休で営業日数が少ないのが4月に影響し、5月は通常通り4回の締切があったため5月度の実績が4月の売上をカバーした。
3	医療・介護サービスのため、顧客数、売上が決められており受注・売上はほぼ横ばい。最低賃金が昨年上がったことにより利益はやや減少している。
4	売り上げ、粗利益増加したが、販売管理量の上昇の方が上回ったため、全体の利益は横ばいとなった
5	町工事落札無、民間工事新規受注増加、今後売上増加
6	海苔の生産枚数減少による顧客の売上が減少したため、使われる乾燥剤及び生産資材等の販売が減少したため。

利益 DI

2019年4～6月期の貴社の「利益」について、前年同期((2018年4～6月期)に比較してお答えください。

横ばい組は維持、成長組は減退傾向

7.対前年同期利益比較		第108回	DI値	5.7	第109回	DI値	-3.6	-9.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	11	3.7	31.4	10	3.6	26.8	-0.1
2	やや増加	82	27.7		64	23.2		-4.5
3	ほぼ横ばい	127	42.9	42.9	118	42.8	42.8	-0.1
4	やや減少	61	20.6	25.7	64	23.2	30.4	+2.6
5	大幅減少	15	5.1		20	7.2		+2.1
	不明	5			1			
	サンプル数(%ベース)	301	296		277	276		-20



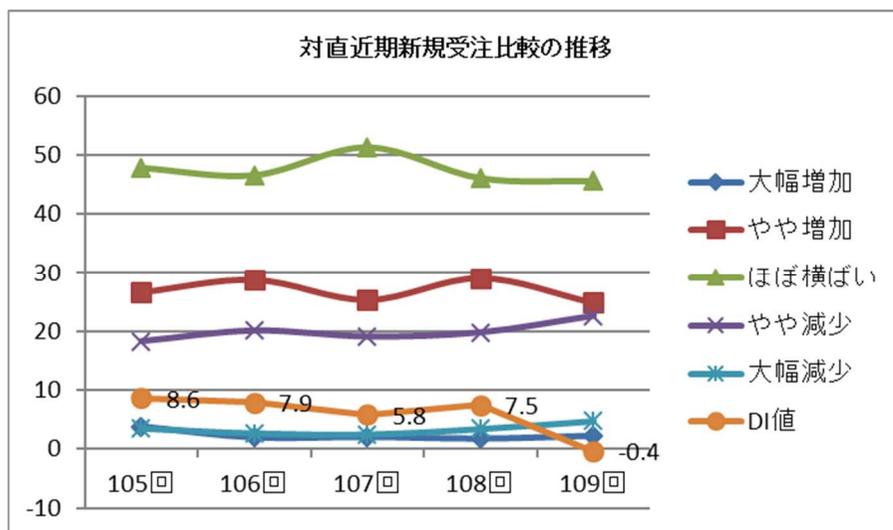
	景況理由 pickup「益」
1	人件費の減少により利益がアップした。
2	医療・介護サービスのため、顧客数、売上が決められており受注・売上はほぼ横ばい。最低賃金が昨年上がったことにより利益はやや減少している。
3	売り上げ、粗利益増加したが、販売管理量の上昇の方が上回ったため、全体の利益は横ばいとなった
4	後継者がいないために廃業した得意先がある。人手不足で営業時間を短くしたところや効率化のための一部委託に切り替える得意先もあり、納品数が減少している。また、価格交渉に応じなければならないところもあり、利益率もひくくなっている。

新規受注 DI

2019年4～6月期の貴社の「新規受注」について、直近期(2019年1～3月期)に比較してお答えください。

受注減少の傾向あり

8.対直近期新規受注比較		第108回	DI値	7.5	第109回	DI値	-0.4	-7.9
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減
1	大幅増加	5	1.7	30.7	6	2.2	27	+0.5
2	やや増加	85	29		67	24.8		-4.2
3	ほぼ横ばい	135	46.1	46.1	123	45.6	45.6	-0.5
4	やや減少	58	19.8	23.2	61	22.6	27.4	+2.8
5	大幅減少	10	3.4		13	4.8		+1.4
	不明	8			7			
	サンプル数(%ベース)	301	293		277	270		-23



景況理由 pickup「受注」
1 受注高減と単価の減少を見込んで 固定費と経費の削減をしたから
2 ネットからの受注が増えた
3 営業手法の重層化が功を奏し、昨年同期に引き続いて新規受注継続している。
4 顧客の製造減のための、受注回数減と数量減による売り上げ減少
5 時期的に不動産取引が少なくなり、当社もそれに伴い受注が減少するため
6 新規受注については、コンサルティング業ですが、福岡のマーケットに合わせて、導入後、2ヶ月無料でのサービス利用を提供し、リスクなく取り組む企業さんが増えてきており、2ヶ月の実績を持って、有料での契約更新となる取り組みができてきております。
7 民間受注に大きな変化はありません
8 例年通りの受注状況です。
9 医療・介護サービスのため、顧客数、売上が決められており受注・売上はほぼ横ばい。最低賃金が昨年上がったことにより利益はやや減少している。

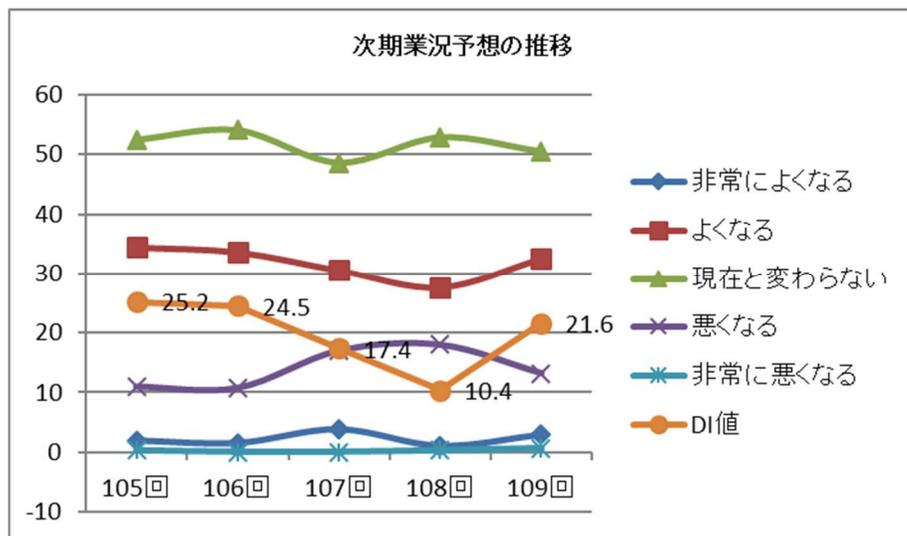
10	期間中の新規受注数が少なかった
11	継続していた案件の終了と新規受注
12	去年の同時期はアキレス腱断裂により休業していました。また、1～3月も同様に、新築の大工工事で受注元も同じため、横ばいです。
13	官庁工事 個人物件の施工及び受注状況の差
14	行政からの受注減のため
15	人手不足による受注機会の逸失
16	新規受注ロス
17	全体的な仕事量の減少、新規受注不足
18	スポット業務の受注不足(低価格での競争のため)
19	受注減少。
20	去年は新製品のタイミングで、受注が多かった
21	ルネサスからの受注の大幅減少、前年同期になかった新規顧客との取引開始

次期予想 DI

2019年7～9月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

プラス域を保ったままながら三期連続低下していたが反転し2桁の改善となっている。

10.次期業況予想		第108回	DI値	10.4	第109回	DI値	21.6	+11.2	
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%		増減	
1	非常によくなる	3	1	28.7	8	2.9	35.5	+1.9	+6.8
2	よくなる	80	27.7		89	32.6		+4.9	
3	現在と変わらない	153	52.9	52.9	138	50.5	50.5	-2.4	
4	悪くなる	52	18	18.3	36	13.2	13.9	-4.8	-4.4
5	非常に悪くなる	1	0.3		2	0.7		+0.4	
	不明	12			4				
	サンプル数(%ベース)	301	289		277	273		-16	

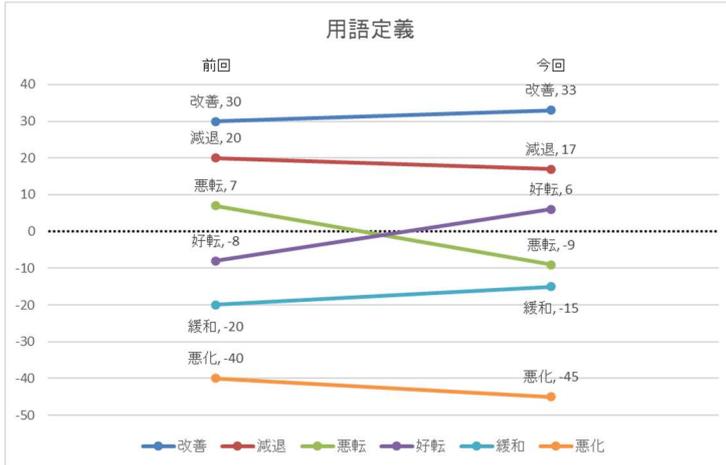


前回は「現在と変わらない」という回答が減少、「悪くなる」が増加していたが、今回は、「悪くなる」は微増、「現在と変わらない」が増加している。

いずれにしても「よくなる」は連続して減少しており、いまだ悲観的ではないにしても、楽観ムードの減退がみられる。

3 主要指標のクロス分析

			DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い	改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い	悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転



本クロス分析では「よい」-「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

景況感が「よい」「普通」「悪い」のそれぞれにおいて売上、利益、新規受注の各 DI は前回より改善しており、特に「普通」においては利益・新規受注は好転となっている。

	第109回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
有効回答数		274	100%	274	273	267	270	
今期景況感	非常に良い	6	2.2%(-0.8)	100(22.2)	100(0)	83.3(50)	33.3(-16.7)	16.7
	よい	53	19.3%(-2)	58.5(-20.5)	64.2(-2)	52.8(-2.7)	32.1(27.3)	1.9
	普通	140	51.1%(-4.6)	14.3(5.7)	7.9(2.5)	8.6(-1.2)	21.9(1.3)	0.7
	悪い	64	23.4%(4.1)	-73.4(-14.5)	-79.7(-8.3)	-67.2(-13.7)	14.3(28.3)	1.6
	非常に悪い	11	4%(3.3)	-90.9(9.1)	-90.9(9.1)	-63.6(36.4)	0(50)	9.1

(イ) 業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのようなであったか

消費財、商業は景況 DI が好転、その他多くの項目で好転と悪転が混在している。

第109回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
クロス回答数		274(-26)	276(-18)	276(-20)	270(-23)	273(-16)	
全体	277	-5.8(-10.2)	0.4(-11.5)	-3.6(-9.4)	-0.4(-7.9)	21.6(11.2)	0.4
製造業(生産財)	25	-24(-24)	-12(-12)	-8(9.4)	-8(-8)	8(3.7)	4.0
製造業(消費財)	15	6.7(24.3)	0(31.3)	0(5.9)	-20(-14.1)	28.6(34.5)	6.7
建設業(建築)	32	-9.4(-15.4)	-6.3(-15.3)	0(-6.1)	-3.1(6.3)	43.8(40.5)	3.1
建設業(土木)	10	20(-7.3)	20(-20)	20(20)	30(2.7)	-10(-37.3)	10.0
建設業(設備)	14	-21.4(-28.6)	-14.3(-28.6)	-21.4(-50)	-28.6(-57.1)	28.6(36.3)	7.1
商業・流通業	27	3.8(7.1)	7.4(7.4)	-7.4(-0.7)	7.7(21)	3.8(16.7)	3.7
サービス業(対事業所)	99	-6.1(-15)	-1(-26.8)	-10.1(-25)	1.1(-10.9)	33.7(16.1)	1.0
サービス業(対個人)	55	-3.7(-6.6)	9.3(0.7)	9.1(4.6)	5.7(-11)	3.7(-17.5)	1.8

(ウ) 従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

20名以下において悪転が目立つ。また利益は21~30名では好転、その他の層は悪転となっている。

第109回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
クロス回答数		274(-26)	276(-18)	276(-20)	270(-23)	273(-16)	
全体	277	-5.8(-10.2)	0.4(-11.5)	-3.6(-9.4)	-0.4(-7.9)	21.6(11.2)	0.4
従業員規模							
0名~5名	110	-12.8(-13.7)	-5.5(-15.2)	-7.3(-16.7)	0(-6.7)	24.1(7.6)	0.9
6名~10名	37	0(0)	-2.7(-18.3)	-8.1(-14.5)	-5.4(-20.2)	18.9(4.4)	2.7
11名~20名	55	-23.6(-23.6)	-7.3(-9.8)	3.6(1.1)	-1.9(8.3)	18.2(33.6)	1.8
21名~30名	24	8.3(-3.2)	16.7(9)	4.2(8)	8.7(1)	17.4(-2.6)	4.2
31名~50名	19	10.5(-1.2)	10.5(4.6)	15.8(21.7)	-5.3(6.5)	5.6(-0.3)	5.3
51名~100名	17	31.3(25.4)	5.9(-17.6)	-17.6(-35.3)	-5.9(-32.5)	5.9(12.1)	5.9
100名以上	15	13.3(-24.2)	33.3(-4.2)	-13.3(-13.3)	14.3(-17)	66.7(46.7)	6.7

(エ) 本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

ほとんどの指標が悪化または悪転となっているが北九州は受注が好転している。福岡・北九州地区と筑豊・県南地区において次期予想の変化が分かれた。

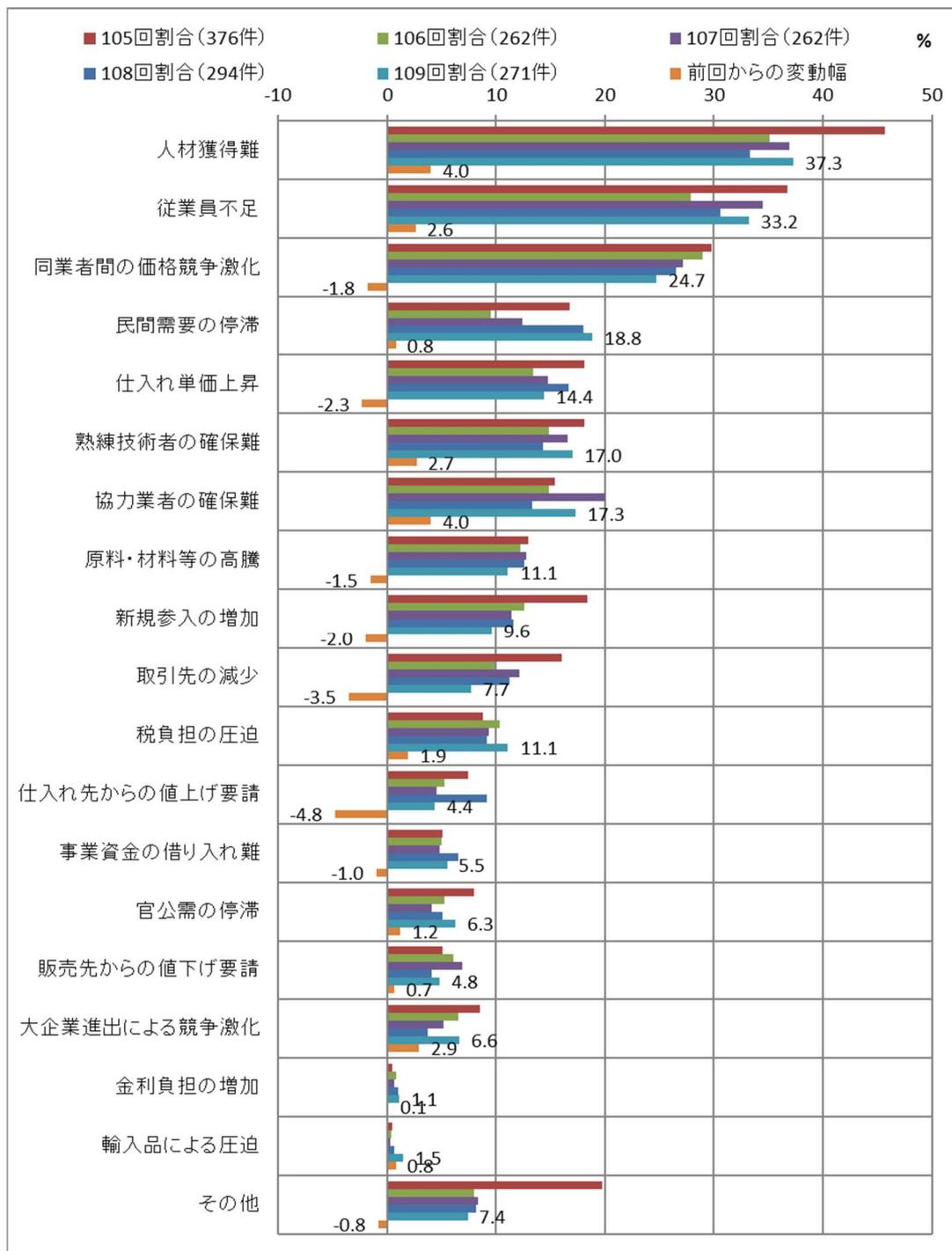
第109回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
クロス回答数		274(-26)	276(-18)	276(-20)	270(-23)	273(-16)	
全体	277	-5.8(-10.2)	0.4(-11.5)	-3.6(-9.4)	-0.4(-7.9)	21.6(11.2)	0.4
本社地区							
福岡地区	169	1.2(-9)	5.4(-13.5)	1.2(-11.2)	0(-10.9)	27.7(16.5)	0.6
北九州地区	43	-18.6(-7.5)	-4.7(-0.7)	-7.1(0.3)	10(17.7)	30.2(30.2)	2.3
筑豊地区	39	15.8(-27.2)	2.6(-14.6)	-2.6(-2.6)	-5.3(-20.4)	7.9(-12.7)	2.6
県南地区	23	-21.7(14.3)	-34.8(1.2)	-34.8(-10.8)	-8.7(-0.7)	-4.3(-4.3)	4.3
福岡県外	3	33.3(33.3)	33.3(19)	0(0)	-33.3(-19)	-66.7(-81)	33.3

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの3項目までを選んでご回答ください。

※106回より「3項目を」から「3項目まで」に変更。

前回減少した「人材獲得難」「従業員不足」「協力業者の確保難」は再度増加、「取引先の減少」や「仕入れ先からの値上げ要請」は減少している。



■問題点自由回答

9.経営上の問題点	5.今期景況判断	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地
1 物流コストの上昇による収益減	よい	商業・流通業	51名～100名	福岡地区
2 人件費増加	悪い	商業・流通業	11名～20名	北九州地区
3 販売先からのジャストインタイム要請	非常に悪い	製造業生産財	11名～20名	県南地区
4 今後の経済状況の推移	普通	サービス業対個人	0名～5名	県南地区
5 個人事業主で、一時休業するため	普通	サービス業対個人	0名～5名	福岡地区
6 取引先増加の工夫が必要	普通	サービス業対事業所	0名～5名	福岡地区
7 仕組化	普通	サービス業対事業所	31名～50名	福岡地区
8 先行き不透明な相場変動	普通	製造業消費財	11名～20名	福岡地区

本社地区別の経営上の問題点						
%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南地区	福岡県外
回答件数	271	166	42	37	23	3
人材獲得難	37.3	35.5	42.9	35.1	43.5	33.3
従業員不足	33.2	31.3	40.5	32.4	34.8	33.3
同業者間の価格競争激化	24.7	27.1	14.3	27.0	21.7	33.3
協力業者の確保難	18.8	16.9	11.9	35.1	21.7	0.0
熟練技術者の確保難	17.3	16.3	23.8	8.1	30.4	0.0
仕入れ単価上昇	17.0	15.1	21.4	18.9	21.7	0.0
原料・材料等の高騰	14.4	15.1	11.9	8.1	21.7	33.3
民間需要の停滞	11.1	11.4	14.3	8.1	8.7	0.0
取引先の減少	11.1	9.6	14.3	18.9	0.0	33.3
新規参入の増加	9.6	10.8	7.1	10.8	0.0	33.3
税負担の圧迫	7.7	7.2	2.4	18.9	4.3	0.0
販売先からの値下げ要請	6.6	6.6	4.8	13.5	0.0	0.0
大企業進出による競争激化	6.3	8.4	0.0	2.7	8.7	0.0
事業資金の借入れ難	5.5	4.8	14.3	2.7	0.0	0.0
仕入れ先からの値上げ要請	4.8	4.8	7.1	5.4	0.0	0.0
官公需の停滞	4.4	4.2	0.0	5.4	13.0	0.0
金利負担の増加	1.5	1.8	0.0	0.0	4.3	0.0
輸入品による圧迫	1.1	1.2	0.0	2.7	0.0	0.0
その他	7.4	6.0	11.9	5.4	13.0	0.0

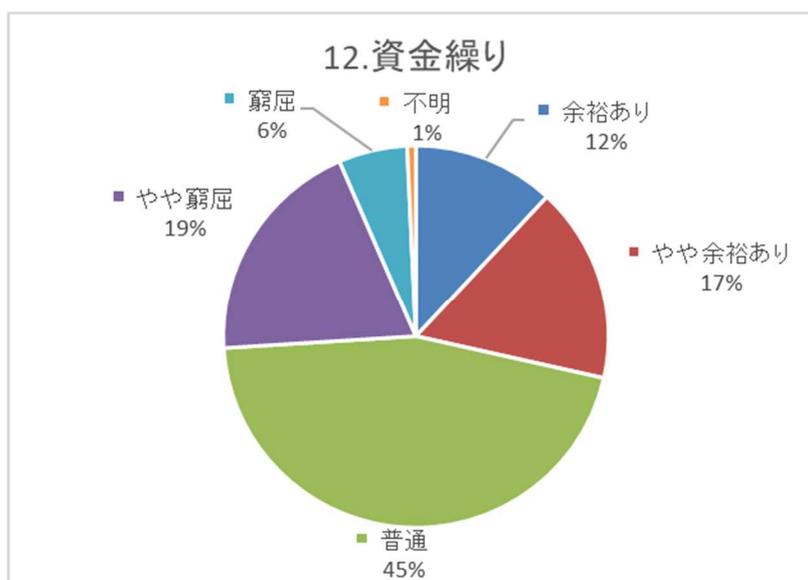
各業種別回答数に対するパーセント
色付きセルは業種別の上位五項目

業種別の経営上の問題点									
%	全体	製造業 (生産財)	製造業 (消費財)	建設業 (建築)	建設業 (土木)	建設業 (設備)	商業・ 流通業	サービス業 (対事業所)	サービス業 (対個人)
回答件数	271	25	15	32	10	14	27	96	52
人材獲得難	37.3	32.0	26.7	40.6	30.0	42.9	44.4	40.6	30.8
従業員不足	33.2	16.0	20.0	34.4	50.0	35.7	33.3	33.3	40.4
同業者間の価格競争激化	24.7	20.0	46.7	15.6	0.0	21.4	55.6	19.8	25.0
協力業者の確保難	18.8	24.0	20.0	15.6	20.0	14.3	33.3	12.5	23.1
熟練技術者の確保難	17.3	24.0	0.0	37.5	60.0	50.0	0.0	14.6	3.8
仕入れ単価上昇	17.0	28.0	13.3	21.9	40.0	28.6	3.7	16.7	9.6
原料・材料等の高騰	14.4	20.0	40.0	25.0	10.0	35.7	25.9	3.1	7.7
民間需要の停滞	11.1	36.0	26.7	15.6	10.0	14.3	11.1	4.2	3.8
取引先の減少	11.1	4.0	13.3	12.5	0.0	0.0	0.0	11.5	23.1
新規参入の増加	9.6	0.0	6.7	0.0	0.0	7.1	7.4	13.5	17.3
税負担の圧迫	7.7	4.0	6.7	3.1	0.0	0.0	11.1	8.3	13.5
販売先からの値下げ要請	6.6	4.0	6.7	6.3	0.0	0.0	7.4	7.3	9.6
大企業進出による競争激化	6.3	0.0	6.7	6.3	30.0	21.4	3.7	7.3	0.0
事業資金の借り入れ難	5.5	12.0	0.0	0.0	0.0	7.1	3.7	7.3	5.8
仕入れ先からの値上げ要請	4.8	4.0	13.3	6.3	0.0	0.0	7.4	6.3	0.0
官公需の停滞	4.4	8.0	13.3	6.3	0.0	0.0	7.4	3.1	1.9
金利負担の増加	1.5	4.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
輸入品による圧迫	1.1	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
その他	7.4	4.0	6.7	3.1	10.0	0.0	7.4	8.3	11.5
各業種別回答数に対するパーセント									
色付きセルは業種別の上位五項目									

5 その他の調査項目

(ア) 資金繰り

12.資金繰り		(SA)		資金繰りDI
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	
1	余裕あり	33	12	11.9
2	やや余裕あり	46	16.7	16.6
3	普通	126	45.8	45.5
4	やや窮屈	54	19.6	19.5
5	窮屈	16	5.8	5.8
	不明	2		0.7
	N (%ベース)	277	275	100



資金繰り DI 値は 3.3 で前回より数値上は若干改善した。全体では約 3/4 弱は問題ない状態である。

(イ) 従業員補充について

補充方法

従業員不足が全業種の課題になっていますが、従業員の補充はどのようにしていますか？

主なキーワード	件数
ハローワーク	37
口コミ	18
なし	18
広告	10
ネット	10
外国	9

回答件数 153 件に対し、主なキーワードは表のとおり。
個別の回答は巻末資料を参照。

2019年4月の新卒採用

2019年4月入社の新卒採用をしましたか？

14.新卒採用状況		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	1名採用した	24	9.2	8.7
2	2名採用した	11	4.2	4
3	3名採用した	4	1.5	1.4
4	4名採用した	7	2.7	2.5
5	5名採用した	5	1.9	1.8
6	採用していない	211	80.5	76.2
	不明	15		5.4
	サンプル数(%ベース)	277	262	100

度数		14.新卒採用状況						
		合計	1名採用した	2名採用した	3名採用した	4名採用した	5名採用した	採用していない
1.業種	合計	262	24	11	4	7	5	211
	製造業(生産財)	23	4	1	1	-	-	17
	製造業(消費財)	15	1	-	1	-	-	13
	建設業(建築)	31	4	1	-	3	-	23
	建設業(土木)	9	3	-	-	1	-	5
	建設業(設備)	13	-	-	-	-	-	13
	商業・流通業	25	2	2	-	1	1	19
	サービス業(対事)	94	5	6	1	2	3	77
	サービス業(対個)	52	5	1	1	-	1	44

2018年4月～2019年3月の採用状況

2018年4月1日から2019年3月31日の間の採用状況はいかがでしたか？

個数 / 採用有無		
	無し	あり
製造業生産財		
0名～5名	2	
6名～10名		1
11名～20名	1	2
21名～30名		1
31名～50名		1
51名～100名		2
製造業消費財		
6名～10名		1
11名～20名	1	
21名～30名		2
31名～50名		2
建設業建築		
0名～5名	3	4
6名～10名	4	1
11名～20名		2
21名～30名		1
31名～50名		4
建設業設備		
0名～5名	1	2
6名～10名	1	1
11名～20名		1
21名～30名	1	
31名～50名		1
建設業土木		
11名～20名		3
31名～50名		1
商業・流通業		
0名～5名		1
6名～10名		1
11名～20名	2	
21名～30名		1
31名～50名		3
51名～100名		4
サービス業対事業所		
0名～5名	10	5
6名～10名	2	2
11名～20名	3	6
21名～30名	1	4
31名～50名	1	1
51名～100名		5
100名以上	1	7
サービス業対個人		
0名～5名	1	
6名～10名	1	2
11名～20名		3
21名～30名		3
31名～50名		1
51名～100名		1
100名以上		2
総計	36	85

新卒採用人数・回答数	
0人	2
1人	12
2人	14
3人	5
4人	1
6人	2
18人	1
総計	37

既卒採用人数・回答数	
1人	23
2人	14
3人	9
4人	3
5人	2
6人	3
7人	1
8人	1
20人	2
総計	58

インターンシップ受入れについて

今年度インターンシップの受け入れ予定はありますか？

列は受入可否・受入人数、数値は回答数

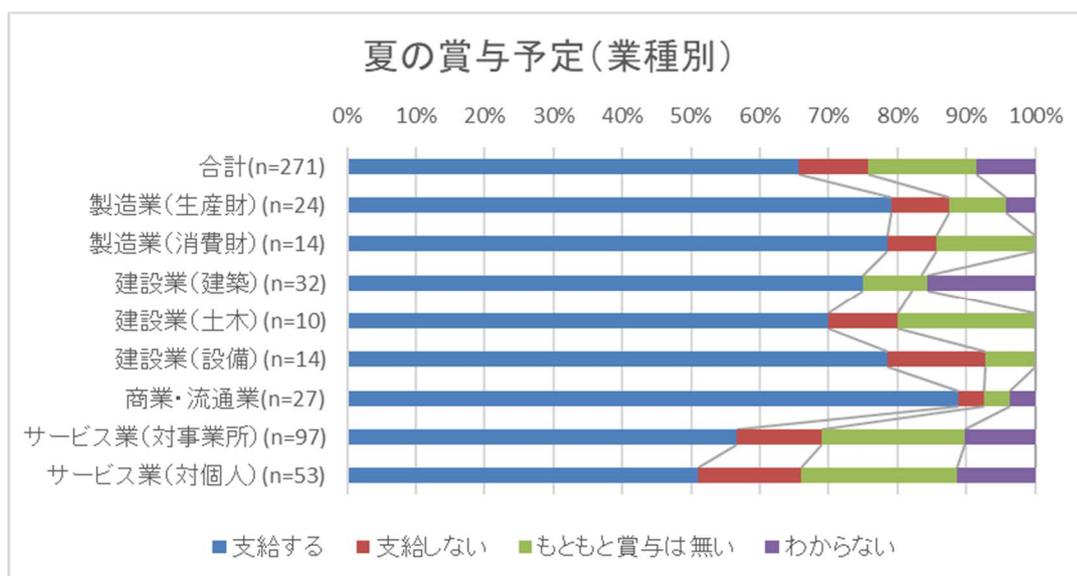
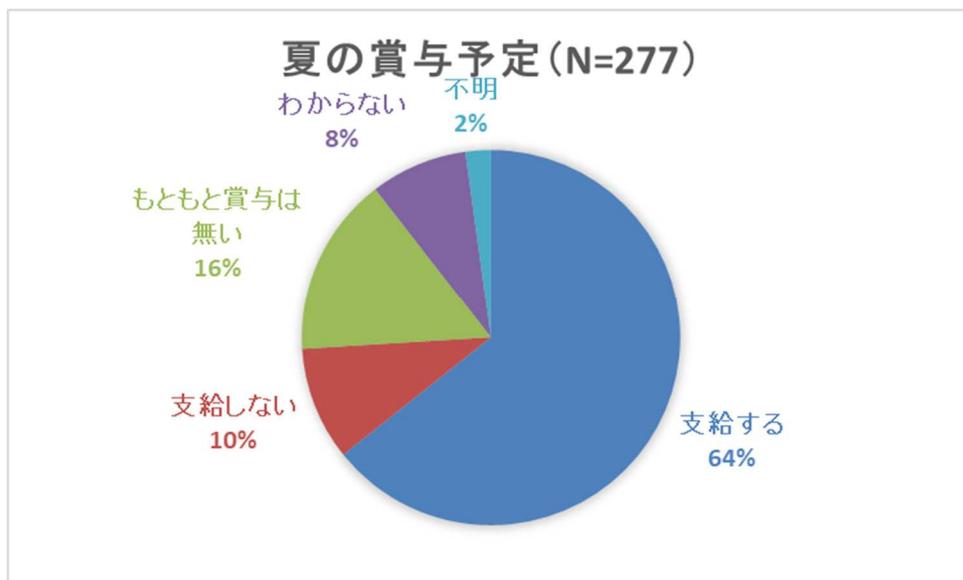
業種別	□あり													あり 集計	□無し		無し 集計	総計
	1	2	3	4	5	6	8	10	12	20	50	100	(空白)		(空白)	(空白)		
製造業生産財		2												1	3	7	7	10
製造業消費財										1				1	2	3	3	5
建設業建築		2	1	2	1				1					2	9	10	10	19
建設業設備	1														1	6	6	7
建設業土木	1														1	2	2	3
商業・流通業			1							1				1	3	6	6	9
サービス業対事業所	1	1	3			1	1				1	1		4	13	27	27	40
サービス業対個人	1	2	2						1					6	12	6	6	18
(空白)		2	1				1	1			1			2	8	19	19	27
総計	4	9	8	2	1	1	2	3	1	1	2	1	17	52	86	86	138	

従業員数別	□あり													あり 集計	□無し		無し 集計	総計
	1	2	3	4	5	6	8	10	12	20	50	100	(空白)		(空白)	(空白)		
0名～5名	1	1												1	3	25	25	28
6名～10名		1		1		1								4	7	11	11	18
11名～20名	2	1												2	5	15	15	20
21名～30名		3	2	1						1	1			2	10	4	4	14
31名～50名			2		1				1					2	6	5	5	11
51名～100名		1	1				1	1	1					1	6	5	5	11
100名以上	1		2									1		3	7	2	2	9
(空白)		2	1				1	1			1			2	8	19	19	27
総計	4	9	8	2	1	1	2	3	1	1	2	1	17	52	86	86	138	

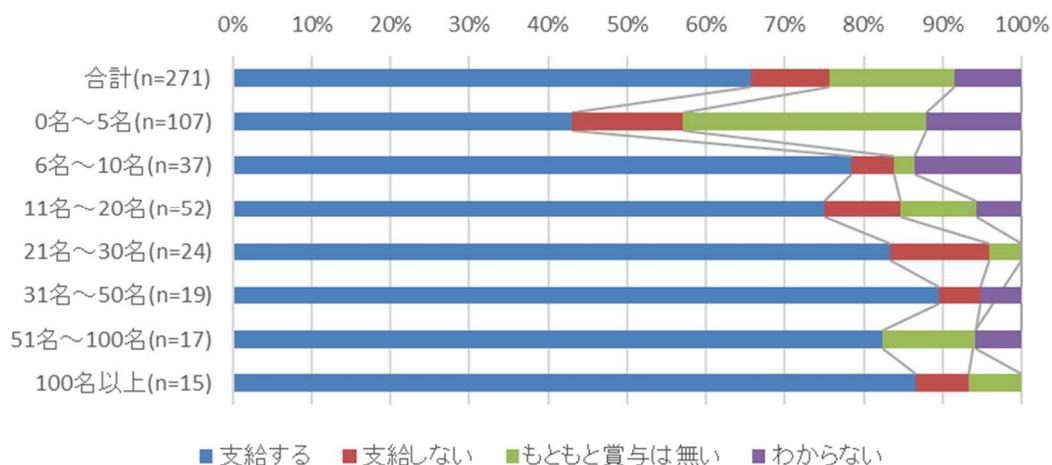
本社地区別	□あり													あり 集計	□無し		無し 集計	総計
	1	2	3	4	5	6	8	10	12	20	50	100	(空白)		(空白)	(空白)		
福岡地区	3	6	3	2	1		1	1	1	1	1	1		6	27	42	42	69
北九州地区		1	2				1		1					5	10	8	8	18
筑豊地区	1		1											2	4	9	9	13
県南地区			1											1	2	7	7	9
福岡県外														1	1	1	1	2
(空白)		2	1				1	1			1			2	8	19	19	27
総計	4	9	8	2	1	1	2	3	1	1	2	1	17	52	86	86	138	

(ウ) 賞与について

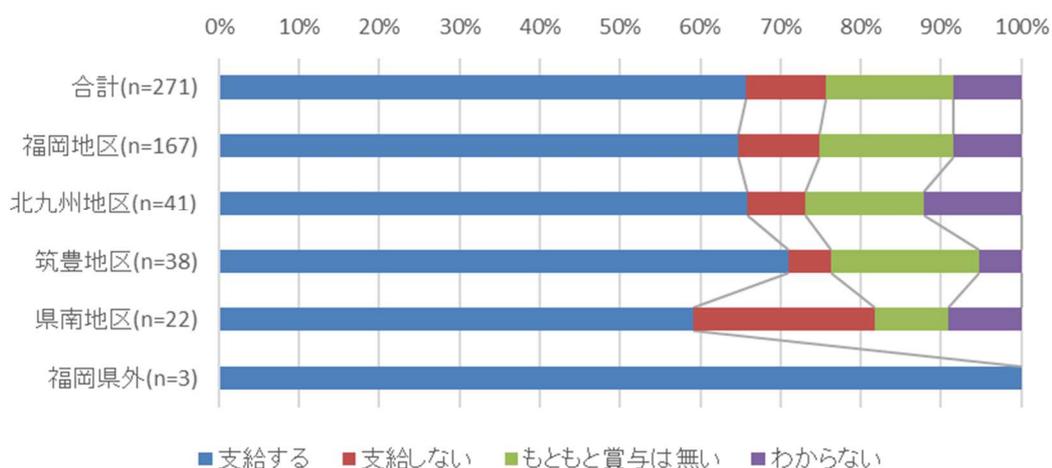
夏の賞与予定



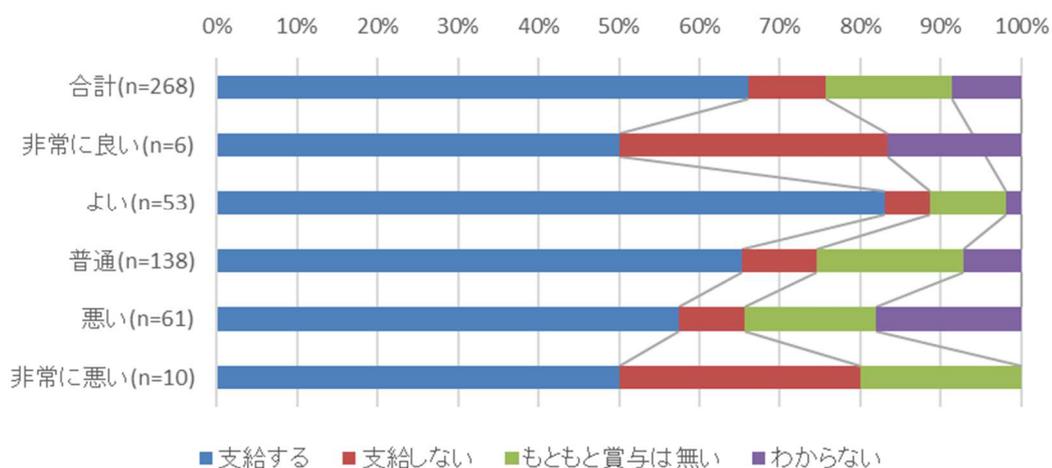
夏の賞与予定(従業員数別)



夏の賞与予定(本社地区別)

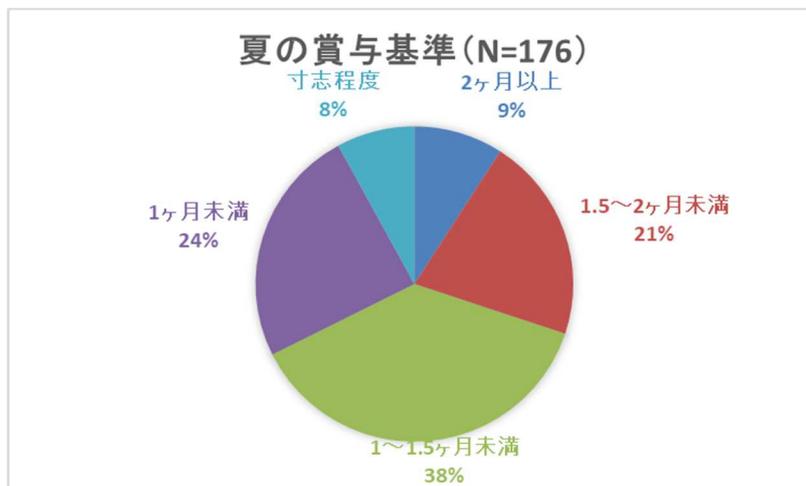


夏の賞与予定(景況感別)



支給基準

「支給する」の方に伺います。支給基準は下記のうちどれが一番近いですか



平均賞与額

支給対象者の平均賞与額

業種	平均賞与
製造業生産財	216,429
製造業消費財	293,750
建設業建築	332,941
建設業設備	306,364
建設業土木	284,000
商業・流通業	266,364
サービス業対事業所	335,000
サービス業対個人	281,500
総計	299,355

従業員数	平均賞与
0名～5名	276,486
6名～10名	322,500
11名～20名	417,857
21名～30名	267,143
31名～50名	249,231
51名～100名	200,000
100名以上	178,571
総計	299,355

本社地区	平均賞与
福岡地区	342,000
北九州地区	261,765
筑豊地区	223,000
県南地区	205,455
福岡県外	300,000
総計	299,355

景況感	平均賞与
非常に良い	260,000
よい	402,069
普通	281,034
悪い	230,370
非常に悪い	320,000
総計	299,350

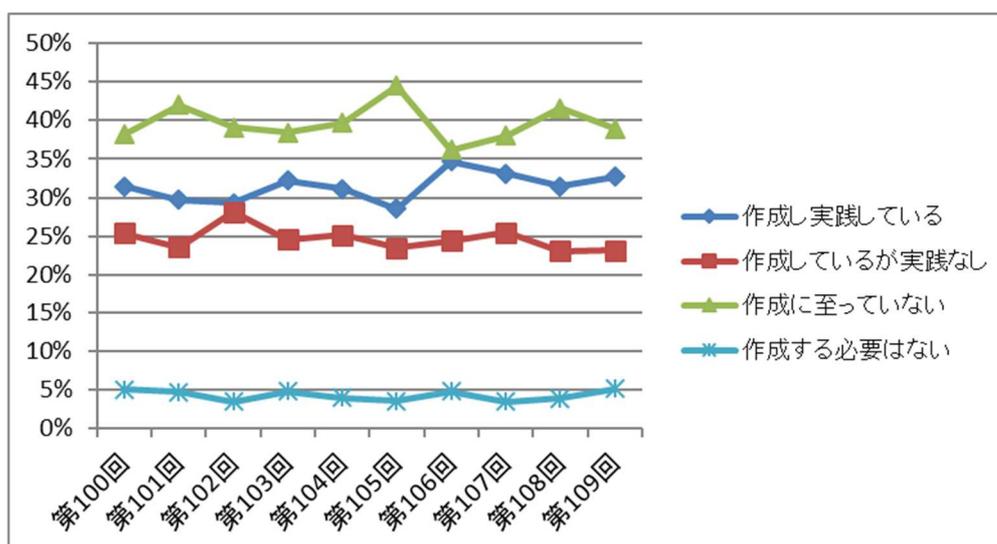
6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

回答水準としては大きな差はないが「作成に至っていない」が微減している。

No.	経営指針書の作成と実践 カテゴリ	第108回		第109回		増減
		件数	(除不)%	件数	(除不)%	
1	作成し実践している	90	31.5	89	32.7	1.2
2	作成しているが実践なし	66	23.1	63	23.2	0.1
3	作成に至っていない	119	41.6	106	39	-2.6
4	作成する必要はない	11	3.8	14	5.1	1.3
	不明	15	0	5	0	
	サンプル数(%ベース)	301	286	277	272	-14



検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証(チェック)していますか。

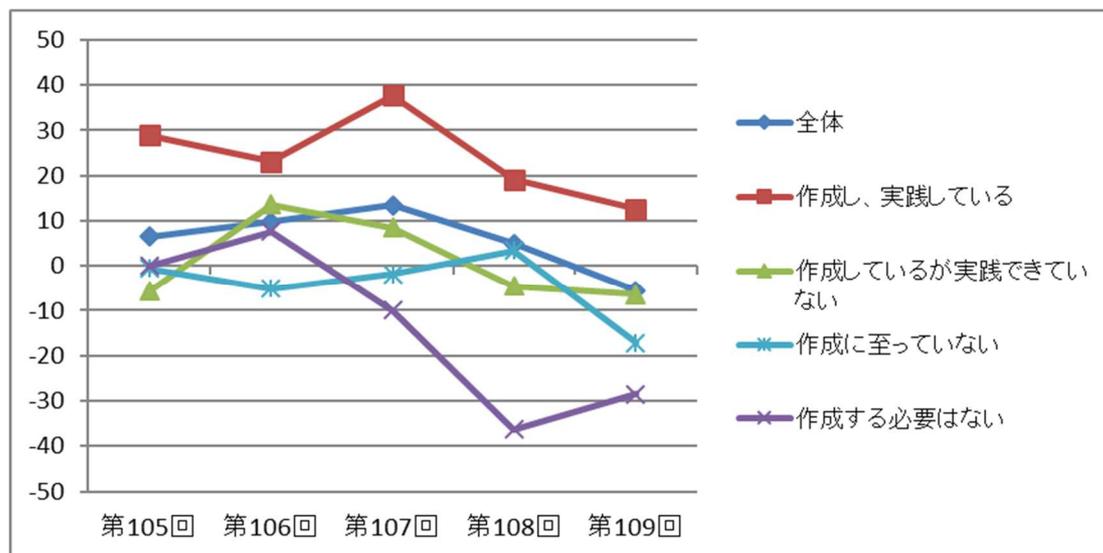
実践している企業のほぼ 99%は一定の頻度で検証している。

17.経営指針書の検証について		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	37	40.7	13.4
2	毎月ではないが検証している	36	39.6	13
3	年に1回は検証している	15	16.5	5.4
4	全く検証していない	3	3.3	1.1
	不明	186		67.1
	N (%ベース)	277	91	100

経営指針書の成果

経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか

過去5回分について作成状況別に景況 DI を見ると、作成し、実践している企業は景況感が高く、景況感の悪化にも抵抗力があることが分かる。



7 自由回答項目

(ア) 景況理由

No.	景況理由	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	2.従業員数
1	人で不足による メーカーからの商圏の委譲	非常に良い	商業・流通業	筑豊地区	31名～50名
2	自社で土地の仕入れをして、販売ができたため。	非常に良い	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
3	10連休の為	非常に良い	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
4	長期大型案件が一気に解決したため。	非常に良い	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名
5	公共工事の案件が大幅に増えた	非常に良い	建設業建築	福岡地区	0名～5名
6	広告宣伝、販促費の増額	よい	商業・流通業	福岡地区	0名～5名
7	新しい広告媒体が結果を出しているため	よい	商業・流通業	福岡地区	31名～50名
8	新規顧客の増加の為	よい	商業・流通業	福岡地区	51名～100名
9	会社統合による効果	よい	商業・流通業	北九州地区	31名～50名
10	地域に大型店舗が進出予定しているので、高齢者が経営している店舗が数店閉店する予定	よい	商業・流通業	福岡県外	11名～20名
11	地道な販促活動による	よい	サービス業対個人	福岡地区	31名～50名
12	事業規模を拡大したため	よい	サービス業対個人	北九州地区	21名～30名
13	近隣競合他社の廃業、シーズンイン	よい	サービス業対個人	筑豊地区	0名～5名
14	組織編成、業務見直し	よい	サービス業対個人	筑豊地区	100名以上
15	ボランティア活動を始めたため最後に報酬が入る仕事が増えたため	よい	サービス業対個人	県南地区	0名～5名
16	スポット商材、新規顧客獲得の為	よい	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
17	大口契約	よい	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名

18	新しいドメインに挑戦中	よい	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
19	インターネット広告と紹介が増えた	よい	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名
20	社員増加に伴い、新規顧客の獲得ができたため	よい	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
21	新しい需要への対応策が成功したため。	よい	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
22	新車販売をはじめた。	よい	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
23	減収だが投資を抑えた	よい	サービス業対事業所	福岡地区	51名～100名
24	計画どおり	よい	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
25	昨年度の契約が実行にうつった	よい	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
26	営業努力のため	よい	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
27	従業員が増えたため	よい	建設業建築	福岡地区	0名～5名
28	受注高減と単価の減少を見込んで 固定費と経費の削減をしたから	よい	建設業建築	福岡地区	31名～50名
29	材料費圧縮	よい	建設業設備	福岡地区	0名～5名
30	顧客が安定している	よい	建設業設備	福岡地区	6名～10名
31	今までの経営努力と経営姿勢、それと従業員の技術のおかげです。	よい	建設業設備	県南地区	0名～5名
32	ネットからの受注が増えた	よい	製造業消費財	福岡地区	0名～5名
33	生産可能量の増加。	よい	製造業消費財	県南地区	6名～10名
34	料金の改定がうまくいった。	よい	製造業生産財	北九州地区	51名～100名
35	営業手法の重層化が功を奏し、昨年同期に引き続いて新規受注継続している。	よい	製造業生産財	県南地区	51名～100名
36	顧客の製造減のための、受注回数減と数量減による売り上げ減少	普通	商業・流通業	福岡地区	0名～5名
37	なし	普通	商業・流通業	福岡地区	0名～5名
38	これといった理由はありません	普通	商業・流通業	福岡地区	11名～20名
39	ここ数年国・県の事業層が今年から通常となってきた。先んじて、新商品開発分や既存商品のでこ入れを実施	普通	商業・流通業	福岡地区	21名～30名
40	半導体を含み製造業の景気悪化。	普通	商業・流通業	筑豊地区	51名～100名

41	不動産(売り物件)が少なくなった為。	普通	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
42	時期的に不動産取引が少なくなり、当社もそれに伴い受注が減少するため	普通	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
43	新規受注については、コンサルティング業ですが、福岡のマーケットに合わせて、導入後、2ヶ月無料でのサービス利用を提供し、リスクなく取り組む企業さんが増えてきており、2ヶ月の実績を持って、有料での契約更新となる取り組みができてきております。	普通	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
44	今期の計画にて横ばいが目標。	普通	サービス業対個人	福岡地区	21名～30名
45	営業力	普通	サービス業対個人	筑豊地区	0名～5名
46	消費の落ち込みだと思われる。	普通	サービス業対個人	筑豊地区	6名～10名
47	新店舗開設した為。	普通	サービス業対個人	筑豊地区	11名～20名
48	各部門のリーダーが固定出来たため。	普通	サービス業対個人	筑豊地区	21名～30名
49	受付時間を短縮したためと思われる	普通	サービス業対個人	筑豊地区	21名～30名
50	新しい分譲地の購入をしているので仕事量が増えています。	普通	サービス業対個人	県南地区	0名～5名
51	昨年度データ比較	普通	サービス業対個人	福岡県外	100名以上
52	民間受注に大きな変化はありません	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
53	公共事業の設計業務なので、国の予算によるため	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
54	人件費の減少により利益がアップした。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
55	季節的なもの	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
56	顧客支払いのタイミングが後半に集中するため	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
57	営業活動再開によるものと考えます	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
58	新規事業開始のため。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
59	年度替わりのため発注が少ない	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
60	例年通りの受注状況です。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
61	コスト削減	普通	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名

62	4~5月は10連休で営業日数が少ないのが4月に影響し、5月は通常通り4回の締切があったため5月度の実績が4月の売上をカバーした。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	21名~30名
63	医療・介護サービスのため、顧客数、売上が決められており受注・売上はほぼ横ばい。最低賃金が昨年上がったことにより利益はやや減少している。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	51名~100名
64	期間中の新規受注数が少なかった	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
65	事業所増加のため	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
66	売り上げ、粗利益増加したが、販売管理量の上昇の方が上回ったため、全体の利益は横ばいとなった	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
67	自身の能力不足	普通	サービス業対事業所	北九州地区	0名~5名
68	行政の施策が、今年度より少しだけ方向が変わった。	普通	サービス業対事業所	北九州地区	100名以上
69	継続していた案件の終了と新規受注	普通	サービス業対事業所	筑豊地区	0名~5名
70	可もなく不可もなく、淡々と進んでいる。	普通	サービス業対事業所	福岡県外	11名~20名
71	去年の同時期はアキレス腱断裂により休業していました。また、1~3月も同様に、新築の大工工事で受注元も同じたため、横ばいです。	普通	建設業建築	福岡地区	0名~5名
72	わからない	普通	建設業建築	福岡地区	0名~5名
73	官庁工事 個人物件の施工及び受注状況の差	普通	建設業建築	福岡地区	6名~10名
74	福岡の市場が未だ成長を感じているから	普通	建設業建築	福岡地区	11名~20名
75	新規雇用獲得難	普通	建設業建築	福岡地区	21名~30名
76	特になし	普通	建設業建築	北九州地区	6名~10名
77	社内の体制、育成不足	普通	建設業建築	北九州地区	31名~50名
78	町工事落札無、民間工事新規受注増加、今後売上増加	普通	建設業設備	福岡地区	6名~10名
79	新築工事は少ないが既存のお客様からの仕事が増えた	普通	建設業設備	県南地区	21名~30名
80	公共工事の受注	普通	建設業土木	福岡地区	0名~5名
81	年度末の繰り越し工事。	普通	建設業土木	福岡地区	11名~20名

82	昨年、同様の受注計画で進んでいます。	普通	建設業土木	福岡地区	11名～20名
83	連休後は例年落ち込みがみられるので…	普通	製造業消費財	福岡地区	0名～5名
84	先行投資による人員増と設備投資も行った為。	普通	製造業消費財	福岡地区	21名～30名
85	新規の獲得が停滞している。	普通	製造業消費財	福岡地区	51名～100名
86	公共事業特に災害等の受注が増えたこと	普通	製造業生産財	福岡地区	21名～30名
87	検収遅れ	普通	製造業生産財	福岡地区	31名～50名
88	材料を支給(賃加工)して頂くお客様が増えた	普通	製造業生産財	北九州地区	0名～5名
89	以前より、展示会出展／各種プレゼン／HP／販売店数の増加の努力をしてきたため、新規顧客が増え、受注も増加した。	普通	製造業生産財	北九州地区	0名～5名
90	人手不足	普通	製造業生産財	筑豊地区	6名～10名
91	あまり市場が動いていない	普通	製造業生産財	県南地区	11名～20名
92	民間の個人消費の伸び悩み	悪い	商業・流通業	福岡地区	0名～5名
93	取扱商品の相場下落	悪い	商業・流通業	福岡地区	11名～20名
94	経費の微増	悪い	商業・流通業	福岡地区	100名以上
95	設備投資の減少	悪い	商業・流通業	北九州地区	11名～20名
96	同業他社さんによる影響	悪い	商業・流通業	北九州地区	11名～20名
97	後継者がいないために廃業した得意先がある。人手不足で営業時間を短くしたところや効率化のための一部委託に切り替える得意先もあり、納品数が減少している。また、価格交渉に応じなければならないところもあり、利益率もひくくなっている。	悪い	商業・流通業	県南地区	6名～10名
98	新規顧客がほぼゼロで、広告費や事務所運営経費を多く支出したため。	悪い	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
99	管轄省庁の規制で商品販売の停滞のため	悪い	サービス業対個人	福岡地区	6名～10名
100	人材不足	悪い	サービス業対個人	福岡地区	100名以上
101	繁忙期が終わったから	悪い	サービス業対個人	北九州地区	0名～5名
102	10連休中は好調であったが、その後の落ち込みが大きかった。	悪い	サービス業対個人	筑豊地区	11名～20名

103	大型連休で稼働日数の減少	悪い	サービス業対個人	県南地区	6名～10名
104	米中貿易戦争、10月増税などなどにより、景況感が悪化	悪い	サービス業対個人	県南地区	31名～50名
105	行政からの受注減のため	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
106	販売価格低下、メーカー欠品により販売できない部品が多い事が継続している為。	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
107	新規	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
108	大型物件が少なくなってきた	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名
109	人材不足	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名
110	人手不足による受注機会の逸失	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
111	新規受注ロス	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
112	活動量不足	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	21名～30名
113	全体的な仕事量の減少、新規受注不足	悪い	サービス業対事業所	県南地区	51名～100名
114	スポット業務の受注不足(低価格での競争のため)	悪い	サービス業対事業所	県南地区	100名以上
115	既存の引き合いに対する生産を消化した状況で、思いの外、4月～6月期に生産する新たな引き合いが少なかった。新たな引き合いは9月以降の生産計画の見込み。	悪い	建設業建築	福岡地区	11名～20名
116	仕事量の減少	悪い	建設業建築	北九州地区	0名～5名
117	依頼(仕事の案件)が若干少なかった。	悪い	建設業建築	筑豊地区	0名～5名
118	営業範囲の拡大、従業員増加。	悪い	建設業建築	筑豊地区	6名～10名
119	公共工事の減少(元受け・下請け共)	悪い	建設業設備	福岡地区	11名～20名
120	民間完成工事物件の先送りや件数そのものが減少しているため。	悪い	建設業設備	筑豊地区	31名～50名
121	受注減少。	悪い	製造業消費財	福岡地区	21名～30名
122	業界のシーズ的な問題 例年のことなので特に問題はない	悪い	製造業生産財	福岡地区	0名～5名
123	取り引き先の景況状態がそうなので。	悪い	製造業生産財	筑豊地区	6名～10名
124	去年は新製品のタイミングで、受注が多かった	悪い	製造業生産財	県南地区	0名～5名

125	海苔の生産枚数減少による顧客の売上が減少したため、使われる乾燥剤及び生産資材等の販売が減少したため。	悪い	製造業生産財	県南地区	31名～50名
126	営業力不足	非常に悪い	サービス業対事業所	北九州地区	0名～5名
127	工事がこの時期、業界的に少ない。	非常に悪い	建設業建築	福岡地区	6名～10名
128	公共工事が動いていない	非常に悪い	建設業設備	福岡地区	0名～5名
129	入札でのくじが当たらない	非常に悪い	建設業設備	福岡地区	0名～5名
130	新年度に入り工事量の減少のため。	非常に悪い	製造業消費財	福岡地区	31名～50名
131	ルネサスからの受注の大幅減少、前年同期になかった新規顧客との取引開始	非常に悪い	製造業生産財	県南地区	11名～20名
132	景気も求人倍率も「踊り場」か？	-	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名

(イ) 従業員の補充方法

No.	13.従業員補充	5.今期景況判断	1.業種	3.本社所在地	2.従業員数
1	賃金のアップ	非常に良い	商業・流通業	筑豊地区	31名～50名
2	特に考えておりません。(不要)	非常に良い	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
3	紹介による採用	非常に良い	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名
4	大作なし	非常に良い	建設業建築	福岡地区	0名～5名
5	現在はまだ様子を見ているところ	よい	商業・流通業	福岡地区	0名～5名
6	新卒の定期採用と広く中途を採用	よい	商業・流通業	福岡地区	31名～50名
7	2019年度新卒採用で対応	よい	商業・流通業	福岡地区	51名～100名
8	定期新卒採用とハローワーク・ネットでの中途採用	よい	商業・流通業	福岡地区	51名～100名
9	お金をかけて、中途採用情報などに掲載。採用教育で高校や大学への活動を実施。	よい	商業・流通業	北九州地区	31名～50名
10	来年度の新規高卒予定者に募集をかけている。社員から友人・知人が転職を希望している場合、紹介してもらってる	よい	商業・流通業	福岡県外	11名～20名
11	新卒採用を検討中	よい	サービス業対個人	福岡地区	21名～30名
12	新卒採用と通年の契約社員採用	よい	サービス業対個人	福岡地区	31名～50名
13	紹介、口コミ、SNS等が中心(アルバイト、パート)	よい	サービス業対個人	筑豊地区	0名～5名
14	従業員の紹介がメイン	よい	サービス業対個人	筑豊地区	100名以上
15	家族に手伝ってもらい、仕事の受注を減らしています	よい	サービス業対個人	県南地区	0名～5名
16	新卒採用	よい	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
17	ハローワークなどでの募集	よい	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
18	主にリクナビ	よい	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
19	ハローワーク インターネットの求人案内	よい	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名

20	新卒採用	よい	サービス業対事業所	福岡地区	51名～100名
21	新卒の定期採用	よい	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
22	ネットなどの広告	よい	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
23	ハローワークからの紹介	よい	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
24	新卒とパート	よい	サービス業対事業所	筑豊地区	21名～30名
25	給料の賃上げや経営理念を説明重視した。それから技能実習生の採用	よい	建設業建築	福岡地区	0名～5名
26	ハローワーク 従業員からの紹介 顧客様からの紹介 ゼネコンからのインターシップ	よい	建設業建築	福岡地区	31名～50名
27	社内環境を良くして、入社したい会社にする	よい	建設業建築	福岡地区	31名～50名
28	あつまるくんなどでの人材募集	よい	建設業設備	福岡地区	0名～5名
29	紹介者による採用をしております	よい	建設業設備	福岡地区	6名～10名
30	現在何もしていないが従業員の流出がないように注意している。	よい	建設業設備	県南地区	0名～5名
31	考えていない	よい	製造業消費財	福岡地区	0名～5名
32	今のところ、大丈夫です。	よい	製造業消費財	筑豊地区	6名～10名
33	していない。	よい	製造業消費財	県南地区	6名～10名
34	機械化などして従業員減っても対応する。	よい	製造業生産財	福岡地区	51名～100名
35	派遣社員の受け入れ	よい	製造業生産財	北九州地区	51名～100名
36	学卒新人受け入れ。縁故。廃業した同業者からの従業員受け入れ。外国人技能実習生受け入れ。	よい	製造業生産財	県南地区	51名～100名
37	ネット求人	普通	商業・流通業	福岡地区	0名～5名
38	ない	普通	商業・流通業	福岡地区	0名～5名
39	不足してありません	普通	商業・流通業	福岡地区	11名～20名
40	計画的、定期的募集の実施	普通	商業・流通業	福岡地区	21名～30名

41	今のところ充足している。	普通	商業・流通業	筑豊地区	51名～100名
42	特に問題ありません。	普通	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
43	知人	普通	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
44	当社は私が所属していたコンサルティング会社のグループより、経営テーマに応じたメンバーを期間限定で雇い入れることができます。固定費ではなく、仕事に応じて、プロジェクト単位で業務委託という形で雇い入れますので従業員不足などの問題はおきておりません。	普通	サービス業対個人	福岡地区	0名～5名
45	ハローワーク、その他求人掲載。	普通	サービス業対個人	福岡地区	11名～20名
46	既存の社員さんへの兼務	普通	サービス業対個人	福岡地区	21名～30名
47	合同就職説明会に参加し補充を行っている。	普通	サービス業対個人	福岡地区	21名～30名
48	ハローワーク	普通	サービス業対個人	北九州地区	21名～30名
49	特に行っていない	普通	サービス業対個人	筑豊地区	0名～5名
50	間に合ってる。	普通	サービス業対個人	筑豊地区	6名～10名
51	紹介や声かけが主で、たまにハローワークを使います。	普通	サービス業対個人	筑豊地区	11名～20名
52	常に求人	普通	サービス業対個人	筑豊地区	11名～20名
53	ハローワーク、社員研修を中心に必要に応じて人材紹介会社を利用。	普通	サービス業対個人	筑豊地区	21名～30名
54	新卒採用をベースに中途採用も取り組んでいる	普通	サービス業対個人	筑豊地区	21名～30名
55	家族での経営でいまのところは十分	普通	サービス業対個人	県南地区	0名～5名
56	ハローワーク、人材紹介	普通	サービス業対個人	福岡県外	100名以上
57	補充の必要なし	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
58	していない	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
59	経験者を希望のため、なかなか採用できない	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
60	同友会合説。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
61	していない。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名

62	非常勤による確保	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
63	現状のままでいく。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
64	外注事務所に協力依頼	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
65	ハローワークおよびマイナビによる募集	普通	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
66	ハローワーク紹介	普通	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
67	紹介	普通	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
68	ハローワーク	普通	サービス業対事業所	福岡地区	21名～30名
69	今現在、補充は考えていません。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	21名～30名
70	求人広告に掲載	普通	サービス業対事業所	福岡地区	21名～30名
71	外国人技能実習生を受け入れるための準備中。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	51名～100名
72	ハローワーク・求人誌・在職社員からの紹介	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
73	新卒採用とキャリア通年採用。	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
74	新卒仕様と中途採用	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
75	ハローワーク、Indeed、紹介、派遣	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
76	人事プロジェクトチームを作り、新卒・中途合わせて求人活動を行っています	普通	サービス業対事業所	福岡地区	100名以上
77	検討中	普通	サービス業対事業所	北九州地区	0名～5名
78	ネット	普通	サービス業対事業所	北九州地区	0名～5名
79	新卒採用、中途採用と通年作用を検討しています。	普通	サービス業対事業所	北九州地区	100名以上
80	ハローワークでの求人	普通	サービス業対事業所	筑豊地区	0名～5名
81	予定なし。	普通	サービス業対事業所	筑豊地区	0名～5名
82	ハローワークその他	普通	サービス業対事業所	福岡県外	11名～20名
83	従業員がいないため答えられません。	普通	建設業建築	福岡地区	0名～5名
84	必要ない	普通	建設業建築	福岡地区	0名～5名

85	求職してますが、どうしようもない状況です。	普通	建設業建築	福岡地区	6名～10名
86	新卒採用	普通	建設業建築	福岡地区	6名～10名
87	新卒採用を継続している	普通	建設業建築	福岡地区	11名～20名
88	ハローワーク主体	普通	建設業建築	福岡地区	21名～30名
89	ハローワーク、リクルート系広告	普通	建設業建築	福岡地区	31名～50名
90	特になし	普通	建設業建築	北九州地区	6名～10名
91	フリーペーパー、ネット求人	普通	建設業建築	北九州地区	31名～50名
92	地元高校への求人。地元の合同企業説明会出展。	普通	建設業設備	福岡地区	0名～5名
93	未定	普通	建設業設備	福岡地区	6名～10名
94	ハローワークへの求人と新卒への求人	普通	建設業設備	県南地区	21名～30名
95	高卒の新卒採用。	普通	建設業土木	福岡地区	11名～20名
96	インドネシアから外国人技能実習生を今夏採用	普通	建設業土木	福岡地区	11名～20名
97	新卒採用、外国人研修生採用で対応しています。	普通	建設業土木	福岡地区	11名～20名
98	高卒採用	普通	建設業土木	県南地区	11名～20名
99	不足しておりません	普通	製造業消費財	福岡地区	0名～5名
100	ハローワークや知人の紹介など、コストの掛からない方法。	普通	製造業消費財	福岡地区	11名～20名
101	募集広告(web+紙媒体)	普通	製造業消費財	福岡地区	51名～100名
102	新卒採用と並行して、外国人技能実習生の受け入れを実施している。	普通	製造業消費財	北九州地区	11名～20名
103	ハローワークです。	普通	製造業生産財	福岡地区	11名～20名
104	高卒者やリクナビに頼っている	普通	製造業生産財	福岡地区	21名～30名
105	ハローワーク	普通	製造業生産財	福岡地区	31名～50名
106	5月からベトナム研修生の受け入れ開始	普通	製造業生産財	北九州地区	0名～5名
107	現在、必要としていない為、特に問題無し。	普通	製造業生産財	北九州地区	0名～5名
108	求人誌、ハローワーク	普通	製造業生産財	筑豊地区	6名～10名

109	手がない	普通	製造業生産財	県南地区	11名～20名
110	退職者が出たときのみ募集、補充	悪い	商業・流通業	福岡地区	11名～20名
111	ハローワーク、ネットでの募集	悪い	商業・流通業	福岡地区	100名以上
112	ハローワーク、求人サイトを出しているが当たりがないです。	悪い	商業・流通業	北九州地区	11名～20名
113	求人情報誌の活用	悪い	商業・流通業	北九州地区	11名～20名
114	必要な時に都度、新卒、中途、パートを募集して補充。計画的定期的ではないので、あまりうまくいっていない。	悪い	商業・流通業	筑豊地区	11名～20名
115	欠員補充をハローワークを通してする	悪い	商業・流通業	県南地区	6名～10名
116	現在の人員で賅っている	悪い	サービス業対個人	福岡地区	6名～10名
117	紹介・教育	悪い	サービス業対個人	福岡地区	100名以上
118	基本的にはハローワークを活用	悪い	サービス業対個人	北九州地区	0名～5名
119	ハローワークや知人のつて、調理専門学校や就労移行事業所からの紹介。	悪い	サービス業対個人	筑豊地区	11名～20名
120	抜けたら補充	悪い	サービス業対個人	県南地区	6名～10名
121	ネット求人にて補充	悪い	サービス業対個人	県南地区	31名～50名
122	募集中	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
123	ハローワークの求人、知人からの紹介など。	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
124	必要なし	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	0名～5名
125	求人を出しているが来ない	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名
126	ハローワーク、その他の媒体で募集中	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	6名～10名
127	外国人実習生の採用	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
128	求人誌による募集	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
129	ハローワークで随時募集	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	11名～20名
130	新卒採用で充実しています	悪い	サービス業対事業所	福岡地区	21名～30名

131	ハローワーク	悪い	サービス業対事業所	北九州地区	0名～5名
132	新卒は合同会社説明会、中途はハローワーク	悪い	サービス業対事業所	北九州地区	0名～5名
133	従来通りの求人と新たに紹介制度の導入	悪い	サービス業対事業所	北九州地区	21名～30名
134	高齢者採用、新卒採用、外国人技能実習生	悪い	サービス業対事業所	県南地区	51名～100名
135	募集はしているが応募が少ない(外国人技能実習生は3名受け入れている)	悪い	サービス業対事業所	県南地区	100名以上
136	新卒採用を進めており定期的に人材は確保しているが、専門的スキルが必要な業務に関してはフリーランス契約による補完を進めている。	悪い	建設業建築	福岡地区	11名～20名
137	具体的なことはしていない。	悪い	建設業建築	筑豊地区	0名～5名
138	人づて。	悪い	建設業建築	筑豊地区	6名～10名
139	採用は出来ているので問題なし	悪い	建設業設備	福岡地区	11名～20名
140	新卒の採用とハローワークからの中途採用。	悪い	建設業設備	筑豊地区	31名～50名
141	継続的採用活動、外国人技能実習生受け入れ	悪い	製造業消費財	福岡地区	21名～30名
142	とにかく若い人材と繋がり勧誘をしているが、なかなか出来ていないのが現状	悪い	製造業生産財	福岡地区	0名～5名
143	専門学校に求人を出し採用に至った。	悪い	製造業生産財	北九州地区	11名～20名
144	社員等の紹介。	悪い	製造業生産財	筑豊地区	6名～10名
145	受注の増減があるので、今の人員でやりくり	悪い	製造業生産財	県南地区	0名～5名
146	比較的安定している。	悪い	製造業生産財	県南地区	31名～50名
147	求人広告、紹介制度	非常に悪い	サービス業対事業所	福岡地区	31名～50名
148	採用予定なし	非常に悪い	サービス業対事業所	北九州地区	0名～5名
149	民間の業者に募集をかけても、良い人材が集まらなかったり、直ぐにやめる等の話を聞くと、伝手の募集なのかなと思います。	非常に悪い	建設業建築	福岡地区	6名～10名
150	ハローワーク	非常に悪い	建設業設備	福岡地区	0名～5名

151	状況次第のところ	非常に悪い	建設業設備	福岡地区	0名～5名
152	新卒採用および定期的に中途者採用をしている。応募者が少なく厳しい。	非常に悪い	製造業消費財	福岡地区	31名～50名
153	ハローワーク及び新規高卒への求人、特にハローワークへんは急募の再依頼が可能な2週間後の確実な連絡	非常に悪い	製造業生産財	県南地区	11名～20名